

北豊島工科高校 図書館だより



新年度がスタートして1か月が過ぎ、新しい生活や環境にも慣れてきた頃ではないでしょうか。今年度もさっそく図書館には新しい本が入ってきました。また、古い本の中にもおもしろい本や役に立つ資料がたくさんあります。いつでも気軽に図書館を利用してくださいね。今月の図書館前廊下展示ケースの特集は「植物の世界」です。

(北豊島工科高校図書館 高木 千里)

特集展示 「植物の世界」



季節は変わり、植物も春から夏に向けて準備を始めています。いきいきとした緑色は日々その濃さを増してきました。植物は言葉を話しませんが、日常の様々なシーンで人に寄り添ってくれる存在です。そんな植物たちの心が、本を通して見えてくるかもしれません。今月の展示は雑草などの身近な草花から珍しい植物まで、植物にまつわる物語やトリビアを集めました。奥深い植物の世界を図書館で感じてみましょう。



特集展示からのおすすめ本



「植物図鑑」
幻冬舎 有川浩 著
913.6 ア



植 沙萌
足元の小宇宙

「足元の小宇宙」 NHK 出版
植沙萌 著 470.4 ハ



「牧野富太郎 日本植物学の父」
汐文社 清水洋美 著
289.1 シ

「荒地の家族」

佐藤 厚志 著 // 新潮社 // 913.6 サ

小説の舞台は宮城県です。東日本大震災での津波の被害があったこの場所もまた、時を刻み続けます。主人公は仕事を独立した直後、震災に見舞われ、その後妻を病気で失います。「元の生活に戻りたい。」けれどもその「元」とは一体いつのことなのでしょう。海を隠すように建設された防潮堤、空き地のままの海辺の土地。復興したはずのこの場所は、いまだ「荒地」のままなのです。

宮城県仙台市在住、震災を経験した書店員作家が描く第168回芥川賞受賞作品です。



新潮社

コミックからのおすすめ本

「クジマ歌えば家ほろろ 1~2」

紺野 アキラ 著 // 小学館 // 726 コ



クジマはロシアからやってきた、3歳にして180cmの長身をほこる謎の生物（多分、鳥）です。ある日、中学1年生の鴻田新と出会い、新の家で生活を始めることになりました。ホームシックにかかり、ロシアに帰りたと思うこともあったクジマでしたが、新の家族とふれあううちに、春まで日本で過ごす決心をします。現在1、2巻の所蔵があり、3巻は6月下旬ごろ入荷予定です。



【北豊島工科高校図書館からのお知らせ】

5月29日(月)から、昨年度・一昨年度分の雑誌バックナンバーと、図書館で必要なくなった本のプレゼントを図書館にて開催します。

雑誌は「月刊Newtype」「オートバイ」「サッカーダイジェスト」など25誌、本はコミック「ブラックジャック」「動物のお医者さん」などたくさん用意しています。図書館の開館時間は8:30~16:30です。ぜひ図書館に来てください。お待ちしております！

